

静間小だより

～気づき 考え みんなで創り出すⅡ～ 令和7年 6月号

「気づき 考え みんなで創り出す」⑭

～「気づき」が幸せを創る・気づきからの言葉で人は救われる～



全校朝礼で「気づきが幸せを創る～気づきからの言葉で人は救われる」ことについて話をしました。

ドラえもんはいつものび太君を助けています。「どんな道具で助けていますか？」と子どもたちに問うと、「スモールライト」、「タケコプター」、「どこでもドア」など子どもたちはつぶやいていました。

しかし、ドラえもんは「道具」だけでのび太君を助けているのでしょうか。「道具」だけのつながりでは、ドラえもんとび太君のような優しさあふれた人間関係はできないと私は思っています。ドラえもんをテレビや映画で見ていると、ドラえもんは、のび太君のことを考えた素敵な「言葉」を実にたくさん送っています。子どもたちに紹介したドラえもんの素敵な言葉は、

「あわてなくていいんだよ。人生は長いんだ。」

「いっしょけんめい のんびりしよう。」

「すぎたことばかり くよくよしてもしょうがない。」

「目が前についているのは なぜだと思う？」

「前へ前へとすすむためだ。」

他にもたくさんあります。その言葉一つ一つが、すべての人にとって意味ある言葉、価値ある言葉ではないと思いますが、その時ののび太君にとって必要な言葉をドラえもんは送っています。このドラえもんの「言葉」にのび太君はどれだけ救われているのでしょうか。「道具」ではない「言葉」によってのび太君はどれだけ勇気づけられているのでしょうか。だからのび太君はドラえもんのことが大好きなんです。

「1・2年生は上級生にどんな言葉を送ることができますか。」「5・6年生は下級生にどんな言葉を送ることができますか。」「3・4年生は、隣の友達にどんな言葉を送ることができますか。」と問いました。子どもたちは真剣に私の話を聞いていました。「言葉」によって人は救われます。

日頃から、見えない人の心に気づき、人が求めている言葉を送ることができればきっと、人は救われ、素敵な仲間、幸せな学校を創っていくことができるという思いを子どもたちに伝えました。そしてこのことは、「気づき 考え みんなで創り出す」学びやくらしの支えになっていくと思います。

連合運動会終わる



5月23日（金）に、連合運動会が行われました。子どもたちは自分の力を精一杯出し切りました。とてもうれしかったです。すべての子どもたちとグータッチをして、私のうれしさを伝えました。

このように、子どもたちが自分の取り組み方に満足できたのは、自分たちで声をかけ合い、みんなでよりよく練習ができたからであると思います。まさに、「気づき、考え、みんなで創り出す姿」でした。5年リレー、6年リレーともに静間小学校が優勝しました。これまでの取組の中で培われた粘り強さややりきる力、創り出す力は、今後の生きる支えになっていくと思います。みんなで切磋琢磨して、高め合える取組ができたことをうれしく思います。



そして、**1～4年生ありがとう**

大会前には壮行式を3・4年生が中心となって行いました。思いが込められた声は人に大きな力を与えます。1～4年生のみんなの応援が、5・6年生の支えになっていたことは間違いありません。みんなで素敵な壮行式を「創り出す」ことができました。全校みんなで盛り上げ、創り出した連合運動会でした。

修学旅行・統合前交流会



6年生が修学旅行に行きました。1日目は、広島平和公園と宮島へ行きました。平和の尊さや平和な社会を創るために一人一人が考える貴重な学びの機会になりました。宮島では壮大な文化と歴史にふれることができました。お土産もたくさん買いました。2日目は、広島空港とみろくの里に行きました。みろくの里ではとにかく遊んで、楽しい時間を過ごしました。そして、6年生が修学旅行に出かけた1日目には、3校の1～5年生が一同に会して、事前交流会を行いました。自己紹介をしたり、ゲームをしたり、静間小学校見学をしたりしました。きっと、安心感とワクワク感を得ることができた交流会になったと思います。今後も交流会を行い、統合前に3校の子どもたちの人間関係を築く取組をしていきたいと考えています。



日常のちょっといい話～手作りかかし～



静間小学校には猿が出没し、昨年度は多くの農作物が食べられました。そして今年度、6年生がさつまいもの苗を植えました。なんと6年生は、猿に食べられないように自作のかかしを半日で作り上げました。これが「気づき 考え みんなで創り出す」取組です。うまくいかないかもしれませんが、こうした取組の積み上げが大切な学びです。自分たちの暮らしを自分たちで創り出すことです。『こだわり』は主体性を生み出す」ことを証明してくれました。